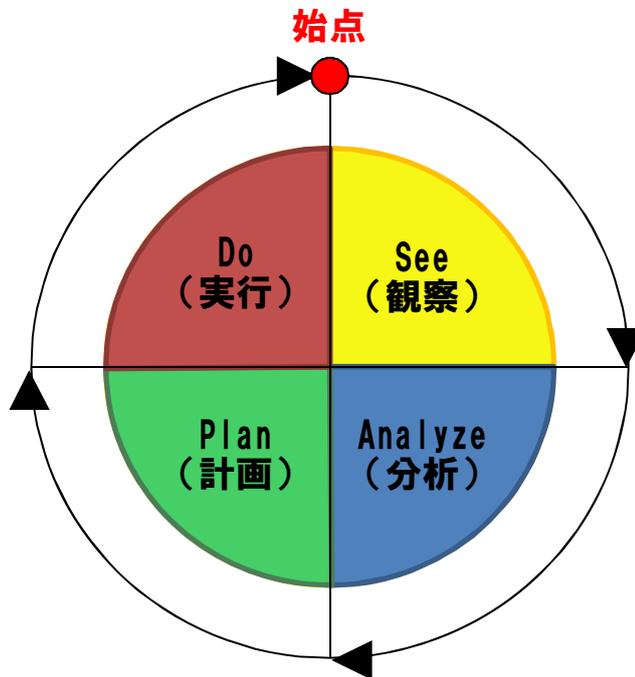


■目的

ver1.2

質改善のPDCAサイクルには問題が多数含まれると考えるため、SAPD(シーエーピーディー)サイクルに変更した。



■解説

●See(観察)

観察力(周囲状況の観察)

観測データ

アンケート結果

顔の表情

各種ドキュメント

対話・会議内容・メールデータ等

・医療の場合

検査データ・診察(問診・触診等)

#起こりうる表面的な現象をSee(観察)によって収集する。

●Analyze(分析)

分析力

洞察力

人生経験

歴史的文化的知識

ロジカルシンキング

考察

・医療の場合

病名診断

#See(観察)における根本的な原因や発生要因となっている

ものを洞察する。

●Plan(計画)

創造力
利害関係者の利害関係情報
互恵的(Win-Win)を目指したアプローチ
市場進出もしくは撤退計画
プロジェクト始動もしくは撤退計画
治療計画・治療方針

#根本原因となるものを解消させるための方便を考える。

●Do(行動)

行動力
勇気
リスクテイク
対人折衝
コーチング(質問による気づきの誘導)
資源(人・者・金・情報)の投入
・医療の場合
手術・処置・投薬

#Plan(計画)で考えた方便を実行する。

**#実行によって環境に変化が訪れるもしくは訪れないので
観察する。つまり、See(観察)へ戻って、→See→Alalyze→・・・のプロセスを循環させる。**

■その他

- ・SAPDプロセスは、円循環するモデルでイメージされるが実際には、一つの観察に対して根本原因の分析は複数存在し、その一つ一つに対してPlan-Do-See-・・・と循環するので、多数の渦巻きが存在しているイメージの方がより近いと考える。
- ・質改善のプロセスは重要であるが、質改善はあくまで視界3mで一步前進するスタイルが多い。微小な改善の繰り返しであるが、戦略的・長期的な視点に立って、すべてを再構築するといった視点に対しては弱点を要する場合があると考えられるため、留意が必要である。
(イノベーションのジレンマ)

■従来のPDCAサイクル(概念)の問題点

Plan-Do-Check-Action

<http://www.atmarket.co.jp/aig/04biz/pdca.html>

- 【1】 DoとActionはほぼ同じ意味である。
- 【2】 Checkの次にActionが来ている。しかし、Actionの前はPlanでは？何をするか決まっていないとしようがない。
- 【3】 Actionの次は最初に戻ってPlanであるが、計画の前にそのActionで起こった環境変化を観察する必要がある。

1の問題点を解消するために、次のように改良する。

Plan-Do-Check-Do

2の問題を解消するために、次のように改良する。

Plan-Do-Check-Plan-Do

3の問題を解消するために、次のように改良する。

Plan-Do-Check-Plan-Do-Check

CheckとSeeはほぼ同義である。しかし、Checkは既に明らかになっている評価項目をチェックするといったニュアンスがあり、Seeは、全体の変化を大きく見渡すといった概念。Doの結果起こった環境変化はその評価項目自体がはっきりしていない場合が多いため、Seeを採用。

Plan-Do-See

この時点で既存概念である、PDSとほぼ同じになった。PDCA概念よりもPDSの方がよりシンプルで概念的に洗練されていると考える。

■PDS

Plan-Do-See(計画-実行-評価)

<http://jp.corogaru.jp/management/pds-cycle.html>

■さらに1...

See(観察)とPlan(計画)の間にAnalyze(分析)を挿入したい。

周囲状況の活動の観察という行為とその現象が発生する根本的な原因追求(分析)という行為は分けて考えておくことに意義があると考えられるからである。

Plan-Do-See-Analyze(計画-実行-観察-分析)

■さらに2...

最初の行動はPlan(計画)になっているが、最初に行うものはSee(観察)である。

新しい会社に就職してまず行うことは、新しい事業の計画や自身の行動計画の立案ではなく、まず周囲の状況把握である。すなわちSee(観察)。このため、順番を変更し、以下に改良する。

See-Analyze-Plan-Do(観察-分析-計画-実行:シーエーピーディー)

■番外編

各プロセスに関係がありそうな一言。

●See

敵を知り、己れを知れば、百戦あやうからず。敵を知らずして、己れを知れば、一勝一負す。敵を知らず、己れを知らざれば、戦うごとに必ずあやうし。

孫子の兵法 孫子

●Analyze

考えることに時間をつかう

時間の使い方を知っている者は、考えることによって成果をあげる。行動する前に考える。繰り返し起こる問題の処理について、体系的かつ徹底的に考えることに時間を使う。

現代の経営 P.F.ドラッカー

●Plan

どんな行動も考えることから生まれる。

ラルフ・ワルドー・エマソン

●Do

勇気とは、恐怖がないことではなく、恐怖よりも大切なものがあるという判断なのだ。

アンブローズ・レッドムーン

金を失うのは小さく、名誉を失うのは大きい。しかし、勇気を失うことは全てを失う。

ウィンストン・チャーチル

意思決定には勇気が求められる

決定の準備は整った。決定の多くが行方不明になるのは、ここである。決定が愉快でなく、評判もよくなく、容易でないことが急に明らかになる。そして、決定には判断力と同じくらい勇気が必要なことが明らかになる。薬は苦いとは限らないが、一般に良薬は苦い。

経営者の条件 P.F.ドラッカー

人間の行動は思考の最上の通訳者だ。

ロック

行動が必要なとき

何もしないと事態が悪化するのであれば、行動しなければならない。同じことは機会についてもいえる。急いで何かをしないと重要な機会が消滅するのであれば、思い切って行動しなければならない。

経営者の条件 P.F.ドラッカー

■更新日

ver1.2	2013/9/20	田北陽一
ver1.1	2013/7/9	田北陽一
ver1.0	2007年	田北陽一